

愛に生き

深川市立一已中学校 学校だより

令和8年9月30日

真に生き

発行者：深川市立一已中学校 電話：0164-22-3341

<http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/ichiyanjh/index.html>

美に生きる

「子どもが育つ教育環境の素晴らしさ～『生活習慣と学習習慣』をしっかりと」

校長 高杉 直人

稲刈り後の金色の水田が広がり、どこまでも抜けるような水色に染まった空に赤い蜻蛉が飛び交う、一已の秋を迎えました。急に気温が下がったので子どもたちの体調を心配していますが、今日も、前期の活動のまとめを進める元気な声が聞こえてきます。

私事ではありますが、先日、子どもたちと先生方のご厚意により、校舎中央のホールで還暦の誕生日を祝っていただきました。Birthday cake を用意していただき、さらに、Happy birthday の歌の合唱をしてもらい、還暦に感謝しているところです。

日本にたくさんの中学校がありますが、校長の誕生日にこんな素敵なプレゼントをくれる学校は「一已中学校しかないなあ」と感激と感謝をするとともに、こんな素敵なプレゼントをくれる子どもたちを育て、本校を支えていただいている保護者と地域の皆様に深く感謝しています。

さて、マスコミでも報道されているのでご存じのことと思いますが、3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

本校の3年生のこの調査から分かる学力の状況は、国語、数学、英語ともに全国平均以上となっており、質問紙調査からは学習や生活の状況が良好と判断できる数値が示されています。よく3年生の朝読書や授業の様子を参観しに行きますが、しっかりと読書や学習などに取り組んでいる姿を見て、いつも安心しています。

また、現在、中学校2年生の授業に入っていますが、私が板書を始めると、子どもたちは水を打ったように静かになり、板書を見つめノートの作成を進めます。すべきことを理解し、場に応じて切り替えて学びに向かう姿に感心します。ただ真剣すぎて、時折説明に織り込むダジャレに気付いて笑ってくれる子どもが少ないのが残念です。

私は、このように子どもたちが健やかに成長しているのは、一已中学校区の保護者と地域の皆様の学校教育への意識や教育力に支えられる教育環境が素晴らしいからであると理解していますし、そこに止まることなくさらに教育環境が充実しないかと考えています。

そのための取組として、一已中学校区では「小中学校の連携によるパワーアッププラン」を構想し、さらに教育環境を充実させ、生活習慣と学習習慣がしっかりと定着できるように進めています。

保護者や地域の皆様には、本プランの内容に示されている家庭や地域での取組を確認いただき、本校区の教育環境が一層向上し、子どもの学びがよりよくなるようご協力をお願いします。

一 己 中 学 校 T O P I C S

学校祭 9月4日(金)

『mosi mosi?〇〇ってるー?』をスローガンに掲げ、「ペーパークラフト」「スタンドグラス」の制作・展示、「パフォーマンスショー」、「合唱発表会」に生徒全員が取り組みました。

夏季休業前から始まった取組の期間中は、完成や目標達成に向けて、仲間とともにやり遂げようとする事のよさや楽しさを味わい、お互いを高め合う活動をすすめてきました。当日は、全員が輝くことができる時間となりました。多くのご声援、ありがとうございました。



人権教室 1年生 9月11日(金)

人権擁護委員を講師に招き、ネットトラブルに起因するいじめについて、考えました。人権問題を正しく理解し、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につなげることを期待しています。



福祉体験 3年生 9月29日(火)

深川市社会福祉協議会や清祥園、深川市役所保健師の方々にご協力いただき、福祉体験を実施しました。学習を通して、高齢者や障がいのある方々の生活に触れ、思いやりや支え合いの心を育みました。また、車いす体験や徘徊模擬訓練などを通じて、福祉への理解を深める貴重な機会となりました。



生徒会役員選挙 9月30日(水)

立候補者たちがそれぞれの学校生活や生徒会活動への思いを演説で熱く発信していました。生徒達は、真剣な表情で耳を傾けていました。後期から、3年生に変わり、1.2年生新役員が生徒会活動を牽引します。



10月の行事予定

- 1 (木) 農業体験 (3年生)
- 6 (火) 高校見学 (1年生クラーク)
- 7 (水) 学力テスト (3年生総合B)
- 8 (木) スクールカウンセラー相談日
- 9 (金) 前期終業式・英検 IBA
- 11 (日) 吹奏楽部定期演奏会
- 12 (月) スポーツの日

- 13 (火) 後期始業式
- 14 (水) 高校見学 (1年生深西)
宿泊研修 (2年生) 1日目
放課後教室 (3年生)
- 15 (木) 宿泊研修 (2年生) 2日目
- 16 (金) 2年生休業日
- 19 (月) 職員会議
- 20 (火) 農業体験 (3年)
- 21 (水) 放課後教室 (3年生)

- 22 (木) スクールカウンセラー相談日
- 24 (土) 市P連研究大会
- 28 (水) 教職員研修日
- 29 (木) 生徒会認証式
委局・代議

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果概要

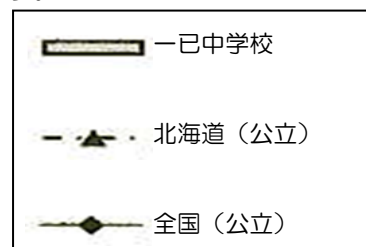
第3学年で実施した教科（国語、数学、英語）に関する調査と生活習慣や学習環境等に関する調査について、本校における概要をお知らせします。

この調査結果をもとに、本校では、教育活動の改善・充実を図っていきます。

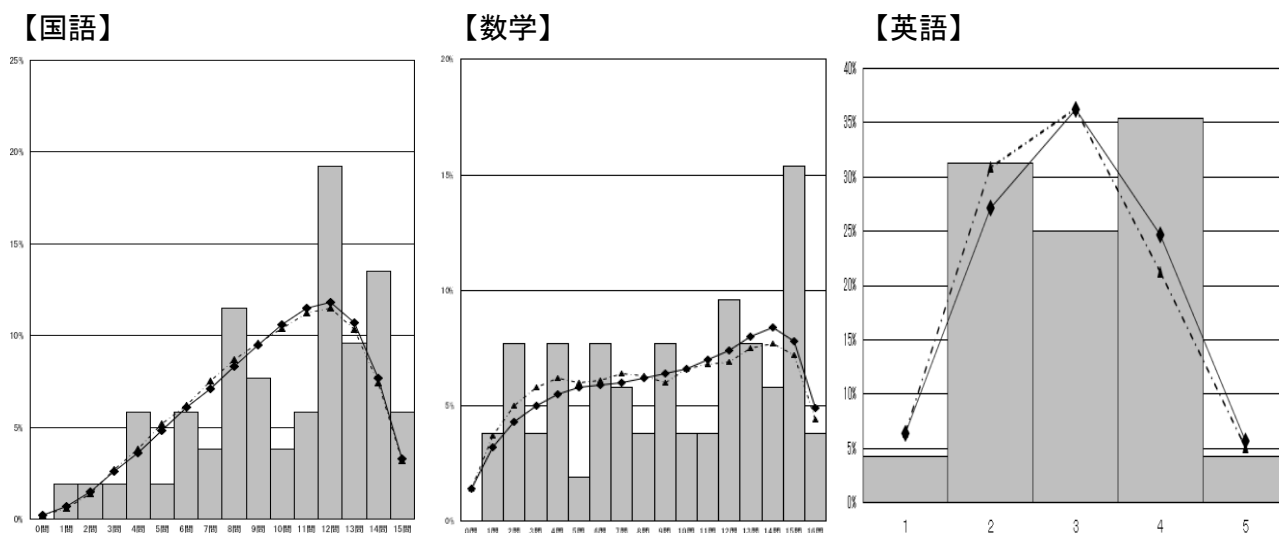
（１）教科に関する調査の概要

※国語と数学の学校と北海道の数値は、整数値での表記、全国の数値は、小数第1位までの数値での表記になっています。また、英語はIRT スコアとなっています。

	一已中学校 平均正答率	北海道 平均正答率	全国 平均正答率	全国との差
国 語	67%	63%	63.9%	+3.1 ポイント程度
数 学	58%	55%	57.0%	+1.0 ポイント程度
英 語	502	490	499	+3 ポイント



正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



【教科に関する調査から見える成果と課題】 ○成果 ●課題

- 国語、数学、英語いずれにおいても、北海道や全国の平均値を上回る良好な結果が出ており、本校で取り組んできた学習指導の成果や3年生が安定した教育環境の中で着実に学力を身に付けてきた成果が表れている。
- 国語においては、各教科において、基礎・基本の定着及び、主体的・対話的で深い学びの実現をめざしてきた。特にペア・グループによる対話的な活動を重視し、自らの考えを適切な言葉で正確に伝えることを継続してきたことで、平均正答率では、3.1P 全国平均を上回った。。数学においては、基礎・基本の定着を図るとともに、単元の指導計画や単位時間のねらいを明確にして、生徒に目的意識をもたせ、授業を行ってきた。また、問題を解いた時には、グループ内で解き方を説明する等の活動を継続してきた。これらの取組で、平均正答率では、1.0P 全国平均を上回った。英語においては、基礎・基本の定着を図るとともに、1 単位時間や単元構成の中で4技能をバランスよく配置したことで、個々の学習活動の充実につなげることができた。また、ペアワーク等の協働的な学習を通して、学習に対する興味・関心を高めていった。これらの取組で、平均正答率では、3.0P 全国平均を上回った。
- 国語、数学においては、記述式の問題の正答率が国語 45.4P、数学 43.3P であった。

今後も継続して、基礎・基本の定着を図るとともに、各教科において生徒の主体性を高める探究的な学習活動を推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、日常的な授業改善に取り組んでいきます。

(2) 生徒質問調査の概要 生活習慣や学習環境等に関する調査についてまとめています。

※当てはまる＋どちらかと言えば当てはまる ※左側：一巳中学校・右側：国

質 問 項 目	学校	国
国語の授業の内容はよく分かる	78.0	76.8
数学の授業の内容はよく分かる	80.0	74.2
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている	90.0	87.0
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	77.6	81.0
毎日、同じくらいの時刻に起きている	88.1	92.6
将来の夢や目標を持っている	76.0	67.6
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている	84.0	78.2
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 ※1時間以上	46.0	61.6
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか ※30分以上	24.0	30.0
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。 ※30分以上	16.0	18.0
1, 2年生のときに受けた授業で、PCなどのICT機器をどの程度使用しましたか。 ※週1回以上	98.0	92.9
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	64.0	72.3
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	96.0	91.3
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	94.0	84.5
自分には、よいところがあると思う	86.0	84.0
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	96.0	95.1
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	68.0	71.9
学校に行くのは楽しいと思う	92.0	85.4

【生徒質問調査から見える成果と課題】○成果 ●課題

- 「授業の内容はよく分かる（肯定的な回答国語 78.0P、数学 80.0P）」から、授業内容の理解度は、全国平均と同等または、全国平均を上回る傾向にある。
- 「1, 2年生のときに受けた授業で、PCなどのICT機器をどの程度使用したか（肯定的な回答 98.0P、全国平均を 6.1P 上回っている）」から、授業のねらいに沿ってICT機器（1人1台端末）を効果的に活用する授業改善がすすんでいると考える。
- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う（肯定的な回答 96.0P）」、「学校に行くのは楽しいと思う（肯定的な回答 92.0P）」から教員と生徒、生徒同士の望ましい人間関係が構築されており、安心して学習に取り組める環境を背景に、学習の質を高める要因となっている。
- 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」と回答した生徒の割合が 84.0P となっており、着実に「主体的な学び」を促す授業改善がすすんでいると考えられる。ただ、否定的な回答をしている生徒もいることから、今後も継続して「主体的な学び」を促すための授業改善を図る必要がある。
- 学校の授業以外での学習時間が1日あたり1時間以上の生徒が 46.0P から、家庭学習時間の確保に課題がみられる。家庭学習・読書の習慣化と質の向上を目指し、家庭での具体的な学習方法の提示などの具体的な方策が必要である。
- 「自分には、よいところがあると思う」と肯定的に考える生徒の割合が 86.0P となっているが、約2割の生徒が、否定的な回答をしていることから、これらの生徒の自己肯定感を高めるための取組が必要である。